

石田三成の密書

～三成の家康打倒の戦略を読む～

慶長 5 (1600) 年 7 月晦日 (7 月 30 日) 付けで、豊臣秀吉政権下で五奉行だった石田三成から、信州上田城 (長野県上田市) の真田昌幸 (真田幸村の父) へ送られた書状について、紹介と解説を行います。この書状は、学問的にあまり注目されていませんが、関ヶ原の合戦の約二カ月前に書かれた物であること、徳川家康が上杉景勝を討つために会津へ向かったのを機に、三成が、毛利輝元はじめ二大老・三奉行らと共に打倒家康に立ち上がった時期であることから、三成の五大老筆頭で戦国時代のカリスマのひとりである家康と戦うための戦略を知る上で貴重な資料です。あなたも、三成の気持ちになって、家康打倒の戦略を練ってみてはいかでしょうか？

講師 種田祐司氏 (秀吉清正記念館調査研究員)

日時 平成 28 年 1 月 9 日 (土)

午前 10 時～11 時

場所 中村図書館集会室

定員 15 名 入場無料 (先着順)

対象 一般

申込 平成 27 年 12 月 12 日 (土)

カウンター受付午前 10 時

電話受付～午前 10 時 30 分

中村図書館 (052) 411-3651